

令和6年度 通学路における危険箇所状況一覧

番号	学校名	危険箇所	通学路の状況	対策内容	実施主体
No.1	梶原小学校	町道梶原野越 (自転車店前)	道路幅員が狭く、朝夕に通学時間帯には通勤する車も多い。児童は狭い路肩を通過して登校しており、直近を車両が通過するなど、危険な状況が認められる。 また、路側帯に物が置かれ、歩行者の妨げになっている箇所がある。	児童への安全教育	梶原小学校
				住民への指導	環境整備課
No.2	梶原小学校	国道197号 (高知高陵交通前)	須崎方面からの道が下り坂になっているため、スピードを出している車が多い。カーブで車からの視界が悪く、横断歩道に気付きにくい。また横断歩道の白線が剥がれてきている。	PTAでの交通安全立哨	梶原小学校
				横断歩道(下り車線側)白線の塗直し。	須崎警察署
No.3	地域から	国道440号 (梶原町生涯学習交流センター付近)	生涯学習交流センターから、約70人の高校生が通学しているが、歩道が片側しかなく、横断歩道のない国道を横切る必要がある。周辺には町営住宅があり幼児から高齢者まで高校生と同じく国道を横断している状況。	横断歩道設置の要望及び協議を行う。	総務課